

〈すしん〉景況レポート



No.26 2023年10月

CONTENTS

景気動向調査

2023年7～9月期実績、2023年10～12月期予想

特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について 5

- 「後継者はすでに決まっている」と回答した中小企業は全体の28.7%
- 53.8%の中小企業が事業を子供(娘婿などを含む)に承継する方針
- 事業承継を行う際に問題になると考えられるのは、「事業の将来性」が43.3%で最多
- 中小企業は信用金庫に「後継者教育等」を最も期待している
- M&A(第三者への事業譲渡)についての認識で最も多いのは「事業を最適な先に譲渡できる」であり、全体の23.7%

地域をつなぎ、地域と共に歩む



須賀川信用金庫

景気動向調査

2023年7～9月期実績、10～12月期予想









































概況

業況判断DIは横ばい、
来期は改善する見込み

今期の全業種業況判断DIは、前期と変わらず▲9.9ポイントとなった。

製造業は前期比3.2ポイント改善し6.3、卸売業は同26.7ポイント悪化し▲26.7、小売業は同2.7ポイント改善し▲19.1、サービス業は同5.8ポイント改善し▲8.5、建設業は同1.6ポイント悪化し▲14.8となった。

来期の全業種業況判断DIは▲7.8で、今期比2.1ポイントの改善を見込んでいる。業種別では小売業、サービス業、建設業で改善、製造業で悪化、卸売業、不動産業で横ばいを見込んでいる。

業況DI	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
全体	 ▲22.0	 ▲9.9	 ▲9.9	 ▲7.8	
製造業	 6.1	 3.1	 6.3	 ▲1.6	
非製造業	 ▲16.0	 ▲14.8	 ▲16.1	 ▲10.1	
卸売業	 ▲6.2	 0.0	 ▲26.7	 ▲26.7	
小売業	 ▲22.9	 ▲21.8	 ▲19.1	 ▲8.5	
サービス業	 ▲21.2	 ▲14.3	 ▲8.5	 ▲6.4	
建設業	 ▲7.6	 ▲13.2	 ▲14.8	 ▲7.4	
不動産業	 ▲20.0	 ▲20.0	 ▲40.0	 ▲40.0	

低調 ←      好調 →

調査要領

1. 調査時期 2023年9月上旬～中旬
2. 調査対象 須賀川・岩瀬地区・石川地区の当金庫取引先(法人・個人事業者)
3. 調査方法 各営業店職員による聞き取り調査
4. 分析方法 各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業の全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断DI)を中心として分析を行った。

	調査先	回答先	回答率
製造業	65	64	98.5%
卸売業	16	16	100.0%
小売業	49	47	95.9%
サービス業	49	48	98.0%
建設業	55	54	98.2%
不動産業	5	5	100.0%
合計	239	234	97.9%

全業種総合

●今期(7-9月)

業況判断DIは横ばい、売上額・収益DIは悪化

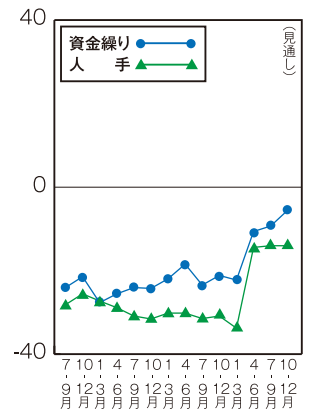
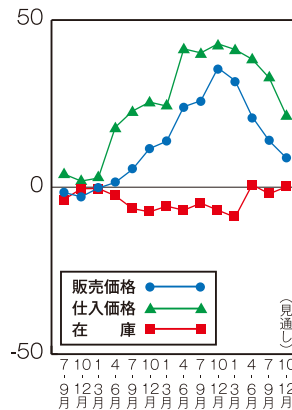
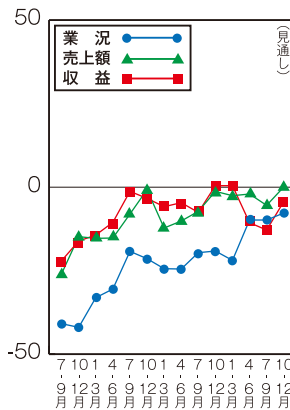
今期の全業種業況判断DI(良い-悪い)は、前期と変わらず▲9.9となった。
 売上額DI(増加-減少)は同3.4ポイント悪化の▲5.5、収益DI(増加-減少)は同2.2ポイント悪化の▲12.9となった。
 販売価格DI(上昇-下降)は同7.2ポイント低下の13.7、仕入価格DI(上昇-下降)は同5.6ポイント低下の32.5となった。在庫DI(過剰-不足)は同2.7ポイント低下の▲2.1となった。
 資金繰りDI(楽-苦しい)は同1.3ポイント改善の▲9.4となった。借入れを実施した企業の割合は9.8%であった。
 雇用面では、人手DI(過剰-不足)は同0.4ポイント上昇の▲14.1と前期に続き改善がみられたものの、人手不足とする企業の割合は依然として高水準が続いている。また、設備投資を実施した企業の割合は23.7%であった。

	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	▲22.0	▲9.9	▲9.9	▲7.8	↗
売上額	▲2.6	▲2.1	▲5.5	0.0	↗
収益	0.4	▲10.7	▲12.9	▲4.4	↗
販売価格	31.7	20.9	13.7	8.6	↘
仕入価格	41.0	38.1	32.5	21.3	↘
在庫	▲9.1	0.6	▲2.1	0.0	↗
資金繰り	▲22.3	▲10.7	▲9.4	▲5.6	↗
人手	▲33.8	▲14.5	▲14.1	▲14.1	→

●来期(10-12月)

業況判断・売上額・収益DIは いずれも改善する見込み

来期の全業種業況判断DIは今期比2.1ポイント改善の▲7.8、売上額DIは同5.5ポイント改善の0.0、収益DIは同8.5ポイント改善の▲4.4を見込んでいる。
 販売価格DIは同5.1ポイント低下の8.6、仕入価格DIは同11.2ポイント低下の21.3、在庫DIは同2.1ポイント上昇の0.0を見込んでいる。



製造業

●今期(7-9月)

業況判断DIは改善、売上額・収益DIは悪化

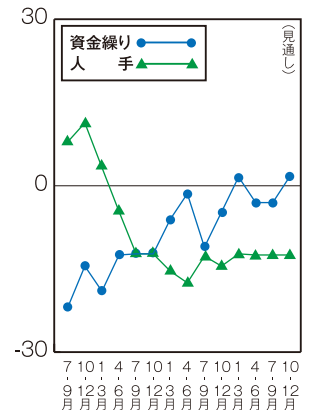
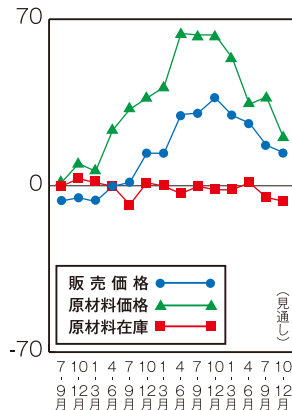
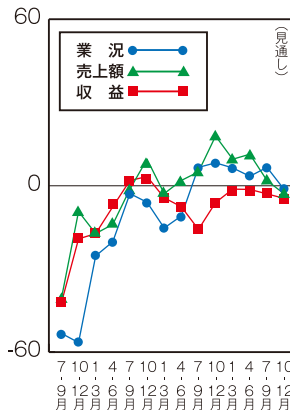
今期の業況判断DIは、前期比3.2ポイント改善し6.3となった。
 売上額DIは同9.4ポイント悪化の1.6、収益DIは同1.6ポイント悪化の▲3.2となった。
 販売価格DIは同9.3ポイント低下の17.2、原材料価格DIは同3.1ポイント上昇の37.5、原材料在庫DIは同6.2ポイント低下の▲4.7となった。
 資金繰りDIは前期と変わらず▲3.1となった。借入れを実施した企業の割合は7.8%であった。
 雇用面では、人手DIは前期と変わらず▲12.5となった。また、設備投資を実施した企業の割合は4.7%であった。

	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	6.1	3.1	6.3	▲1.6	↘
売上額	9.2	11.0	1.6	▲3.2	↘
収益	▲1.5	▲1.6	▲3.2	▲4.8	↘
販売価格	29.7	26.5	17.2	14.1	↘
原材料価格	53.8	34.4	37.5	20.3	↘
原材料在庫	▲1.5	1.5	▲4.7	▲6.3	↘
資金繰り	1.5	▲3.1	▲3.1	1.6	↗
人手	▲12.3	▲12.5	▲12.5	▲12.5	→

●来期(10-12月)

業況判断・売上額・収益DIは いずれも悪化する見込み

来期の業況判断DIは今期比7.9ポイント悪化の▲1.6、売上額DIは同4.8ポイント悪化の▲3.2、収益DIは同1.6ポイント悪化の▲4.8を見込んでいる。
 販売価格DIは同3.1ポイント低下の14.1、原材料価格DIは同17.2ポイント低下の20.3、原材料在庫DIは同1.6ポイント低下の▲6.3を見込んでいる。
 雇用面では、人手不足とする企業の割合は変わらず▲12.5となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は9.4%であった。



経営上の問題点

原材料高	22.8%
売上の停滞・減少	17.1%
利幅の縮小	16.3%

当面の重点経営施策

販路を広げる	26.6%
経費を節減する	
人材を確保する	11.0%

非製造業 ※不動産業は、調査対象先が少ないため業種ごとのDIは掲載していません。

●卸売業

●今期（7-9月）

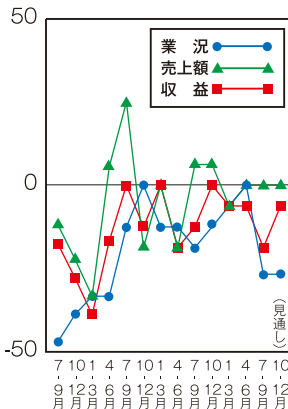
業況判断・収益DIは悪化、売上額DIは横ばい

今期の業況判断DIは、前期比26.7ポイント悪化の▲26.7となった。売上額DIは前期と変わらず0.0、収益DIは同12.5ポイント悪化の▲18.7となった。販売価格DIは同25.1ポイント低下の6.2、仕入価格DIは同18.8ポイント低下の18.7、在庫DIは同6.3ポイント低下の12.5となった。資金繰りDIは同6.2ポイント悪化の▲25.0となった。借入れを実施した企業の割合は12.5%であった。雇用面では、人手DIは同6.2ポイント低下の▲12.5となった。また、設備投資を実施した企業は無かった。

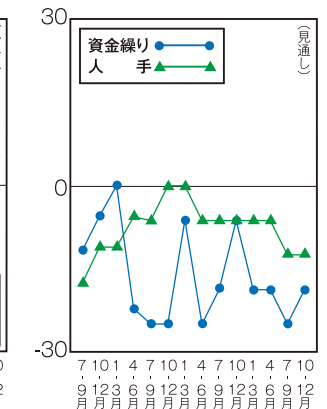
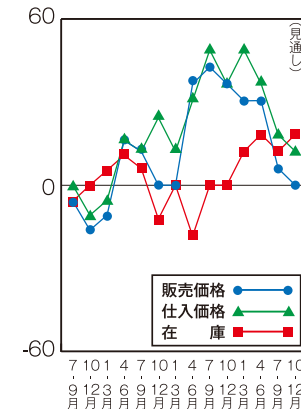
●来期（10-12月）

業況判断・売上額DIはともに横ばい、収益DIは改善する見込み

来期の業況判断・売上額DIはそれぞれ今期と変わらず、業況判断DIが▲26.7、売上額DIが0.0となる見込み。収益DIは同12.5ポイント改善の▲6.2を見込んでいる。販売価格DIは同6.2ポイント低下の0.0、仕入価格DIは同6.2ポイント低下の12.5、在庫DIは同6.3ポイント上昇の18.8を見込んでいる。雇用面では、人手不足とする企業の割合は今期と変わらず▲12.5となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は6.3%であった。



	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	▲6.2	0.0	▲26.7	▲26.7	→
売上額	▲6.2	0.0	0.0	0.0	→
収益	▲6.2	▲6.2	▲18.7	▲6.2	↗
販売価格	31.2	31.3	6.2	0.0	↘
仕入価格	50.0	37.5	18.7	12.5	↘
在庫	12.5	18.8	12.5	18.8	↗
資金繰り	▲18.8	▲18.8	▲25.0	▲18.8	↗
人手	▲6.3	▲6.3	▲12.5	▲12.5	→



経営上の問題点

売上の停滞・減少	25.8%
利幅の縮小	22.6%
同業者間の競争の激化	19.4%

当面の重点経営施策

販路を広げる	40.7%
経費を節減する	25.9%
情報力を強化する	7.4%

●小売業

●今期（7-9月）

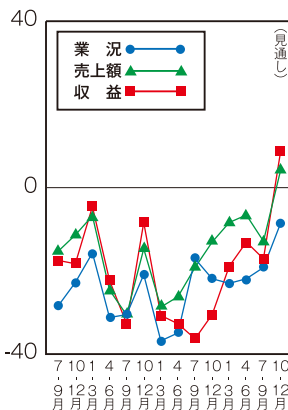
業況判断DIは改善、売上額・収益DIは悪化

今期の業況判断DIは、前期比2.7ポイント改善し▲19.1となった。売上額DIは同6.3ポイント悪化の▲12.8、収益DIは同4.0ポイント悪化の▲17.0となった。販売価格DIは同4.9ポイント低下の23.4、仕入価格DIは同15.7ポイント低下の25.6、在庫DIは同0.2ポイント上昇の▲4.2となった。資金繰りDIは同6.8ポイント改善の▲14.9となった。借入れを実施した企業の割合は6.4%であった。雇用面では、人手DIは同4.5ポイント上昇の▲6.3となった。また、設備投資を実施した企業の割合は6.5%であった。

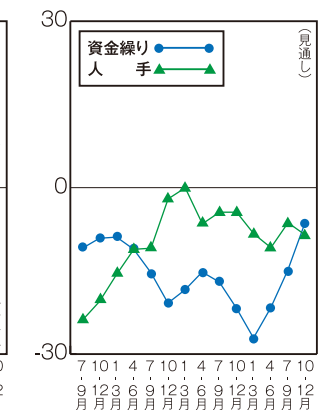
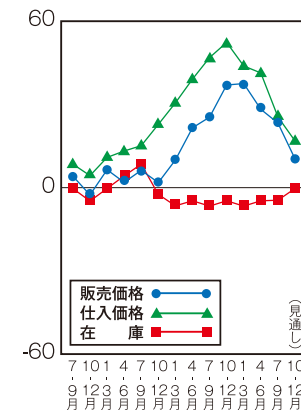
●来期（10-12月）

業況判断・売上額・収益DIはいずれも改善する見込み

来期の業況判断DIは今期比10.6ポイント改善の▲8.5、売上額DIは同17.0ポイント改善の4.2、収益DIは同25.7ポイント改善の8.7を見込んでいる。販売価格DIは同12.8ポイント低下の10.6、仕入価格DIは同8.6ポイント低下の17.0、在庫DIは同4.2ポイント上昇の0.0を見込んでいる。雇用面では、人手不足とする企業の割合は同2.2ポイント悪化の▲8.5となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は2.2%であった。



	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	▲22.9	▲21.8	▲19.1	▲8.5	↗
売上額	▲8.3	▲6.5	▲12.8	4.2	↗
収益	▲18.8	▲13.0	▲17.0	8.7	↗
販売価格	37.5	28.3	23.4	10.6	↘
仕入価格	43.8	41.3	25.6	17.0	↘
在庫	▲6.3	▲4.4	▲4.2	0.0	↗
資金繰り	▲27.1	▲21.7	▲14.9	▲6.4	↗
人手	▲8.3	▲10.8	▲6.3	▲8.5	↘



経営上の問題点

売上の停滞・減少	17.3%
同業者間の競争の激化	
利幅の縮小	12.3%
仕入先からの値上げ要請	

当面の重点経営施策

経費を節減する	32.9%
宣伝・広告を強化する	18.4%
品揃えを改善する	14.5%

●サービス業

●今期（7-9月）

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも改善

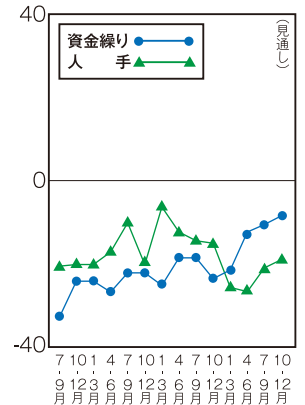
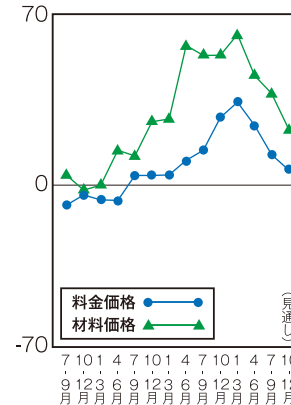
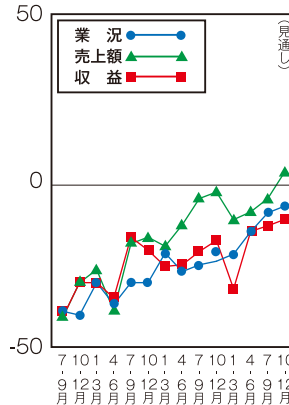
今期の業況判断DIIは、前期比5.8ポイント改善の▲8.5となった。売上額DIIは同4.1ポイント改善の▲4.1、収益DIIは同1.7ポイント改善の▲12.5となった。料金価格DIIは同12.0ポイント低下の12.5、材料価格DIIは同7.4ポイント低下の37.5となった。資金繰りDIIは同1.8ポイント改善の▲10.4であった。借入れを実施した企業の割合は10.4%であった。雇用面では、人手DIIは同5.7ポイント上昇の▲20.8となった。また、設備投資を実施した企業の割合は6.3%であった。

	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	▲21.2	▲14.3	▲8.5	▲6.4	↗
売上額	▲10.6	▲8.2	▲4.1	4.2	↗
収益	▲31.9	▲14.2	▲12.5	▲10.5	↗
料金価格	34.0	24.5	12.5	6.2	↘
材料価格	61.7	44.9	37.5	22.9	↘
資金繰り	▲21.3	▲12.2	▲10.4	▲8.3	↗
人手	▲25.5	▲26.5	▲20.8	▲18.8	↗

●来期（10-12月）

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも更に改善する見込み

来期の業況判断DIIは今期比2.1ポイント改善の▲6.4、売上額DIIは同8.3ポイント改善の4.2、収益DIIは同2.0ポイント改善の▲10.5を見込んでいる。料金価格DIIは同6.3ポイント低下の6.2、材料価格DIIは同14.6ポイント低下の22.9を見込んでいる。雇用面では、人手不足とする企業の割合は同2.0ポイント改善の▲18.8となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は8.2%であった。



経営上の問題点

材料価格の上昇	20.2%
売上の停滞・減少	18.1%
人手不足	14.9%

当面の重点経営施策

販路を広げる	26.8%
経費を削減する	24.4%
宣伝・広告を強化する	14.6%

●建設業

●今期（7-9月）

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも悪化

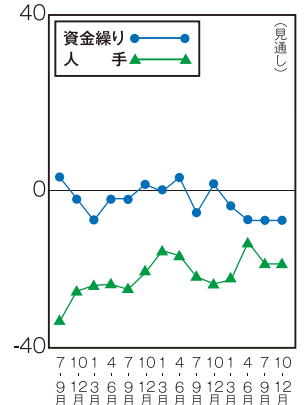
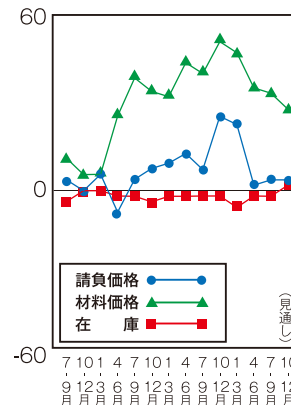
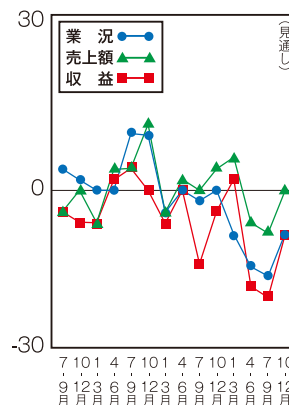
今期の業況判断DIIは、前期比1.6ポイント悪化し▲14.8となった。売上額DIIは同1.8ポイント悪化の▲7.4、収益DIIは同1.9ポイント悪化の▲18.5となった。請負価格DIIは同1.8ポイント上昇の3.7、材料価格DIIは同1.8ポイント低下の33.3、在庫DIIは同0.1ポイント低下の▲1.9となった。資金繰りDIIは前期と変わらず▲7.4となった。借入れを実施した企業の割合は13.0%であった。雇用面では、人手DIIは同5.5ポイント低下の▲18.5となった。また、設備投資を実施した企業の割合は8.8%であった。

	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月 (予想)	方向
業況判断	▲7.6	▲13.2	▲14.8	▲7.4	↗
売上額	5.7	▲5.6	▲7.4	0.0	↗
収益	1.9	▲16.6	▲18.5	▲7.6	↗
請負価格	22.6	1.9	3.7	3.7	→
材料価格	47.1	35.1	33.3	27.8	↘
在庫	▲5.7	▲1.8	▲1.9	1.9	↗
資金繰り	▲3.8	▲7.4	▲7.4	▲7.4	→
人手	▲22.6	▲13.0	▲18.5	▲18.5	→

●来期（10-12月）

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも改善する見込み

来期の業況判断DIIは今期比7.4ポイント改善の▲7.4、売上額DIIは同7.4ポイント改善の0.0、収益DIIは同10.9ポイント改善の▲7.6を見込んでいる。請負価格DIIは今期と変わらず3.7、材料価格DIIは同5.5ポイント低下の27.8、在庫DIIは同3.8ポイント上昇の1.9を見込んでいる。雇用面では、人手不足とする企業の割合は今期と変わらず▲18.5となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は12.5%であった。



経営上の問題点

材料価格の上昇	23.3%
売上の停滞・減少	21.6%
人手不足	16.4%

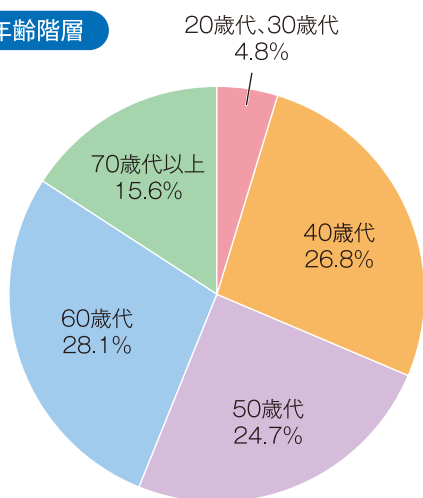
当面の重点経営施策

販路を広げる	22.6%
技術力を高める	17.9%
人材を確保する	

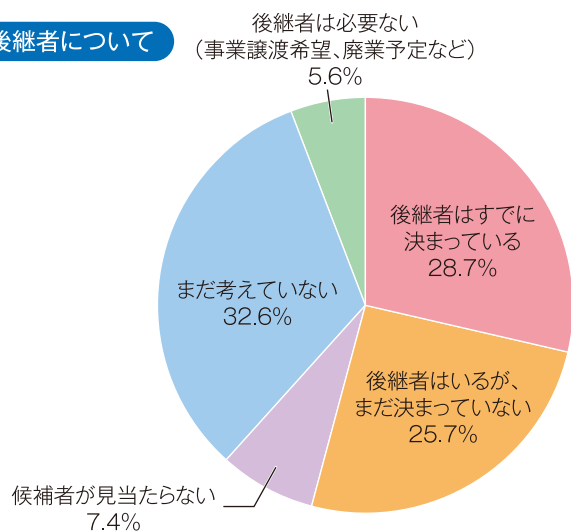
特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について

問1 貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものをお答えください。

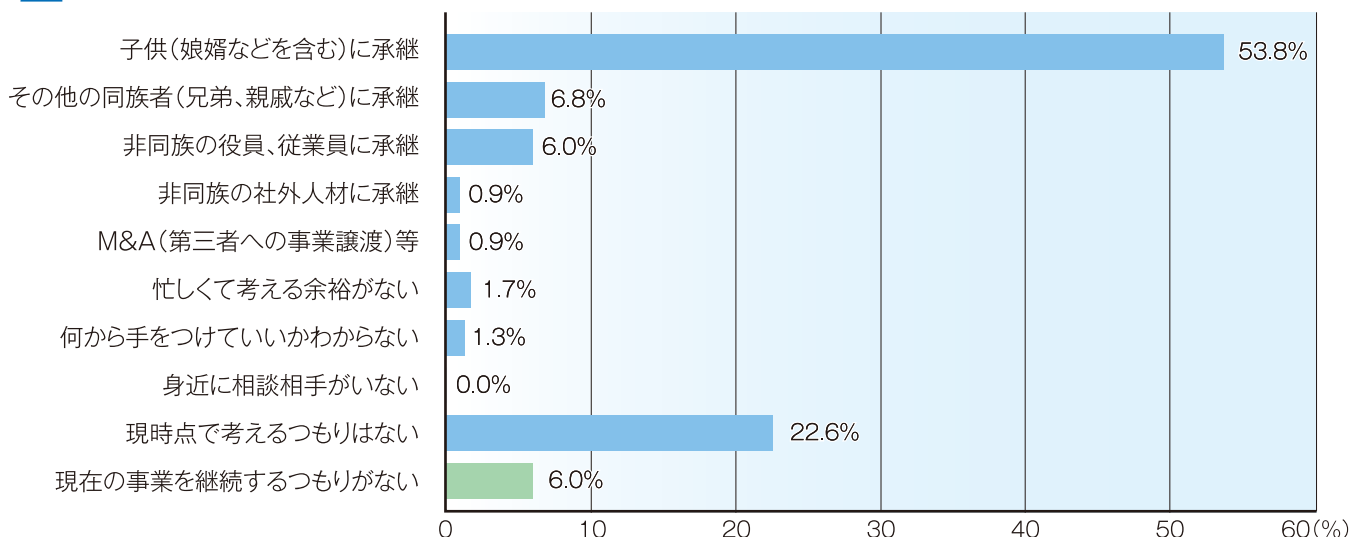
社長の年齢階層



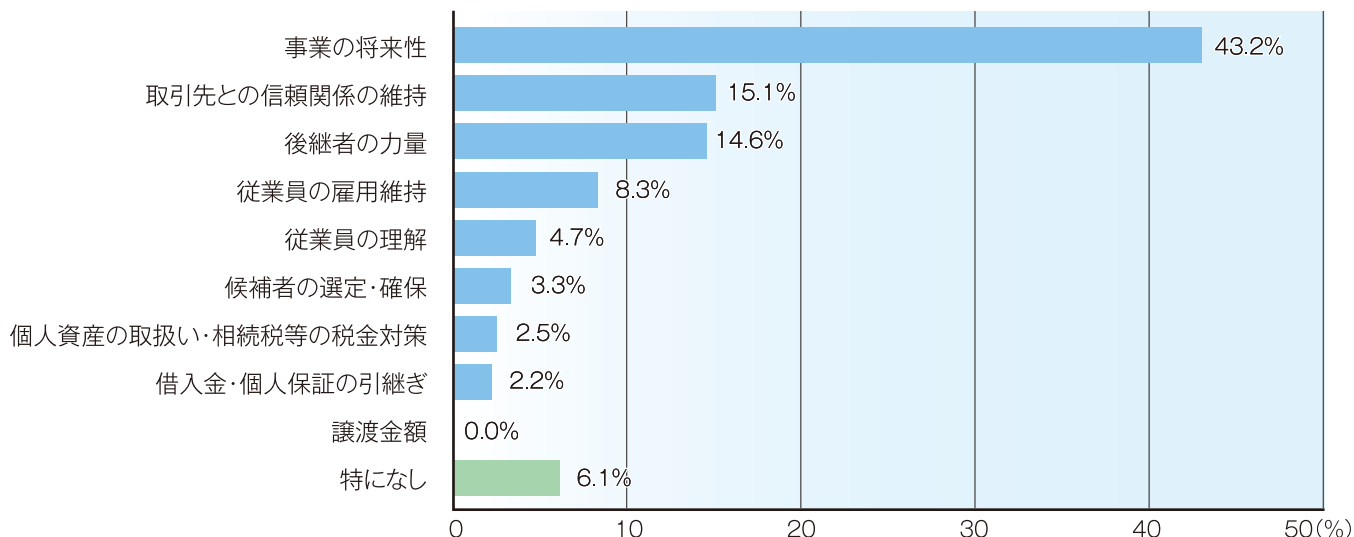
後継者について



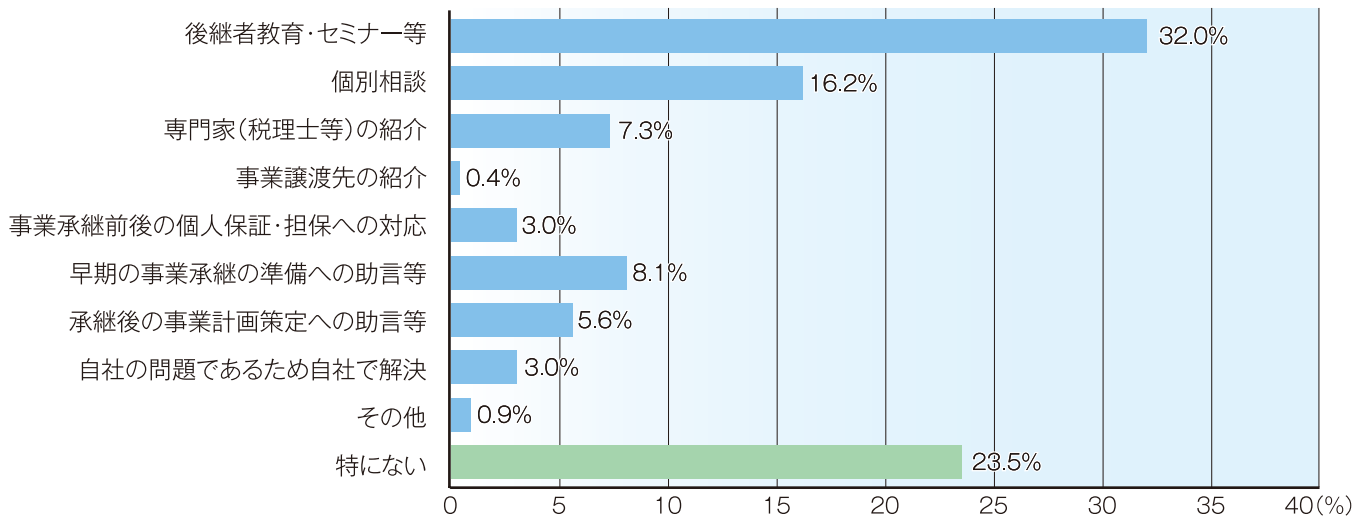
問2 貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものをお答えください。



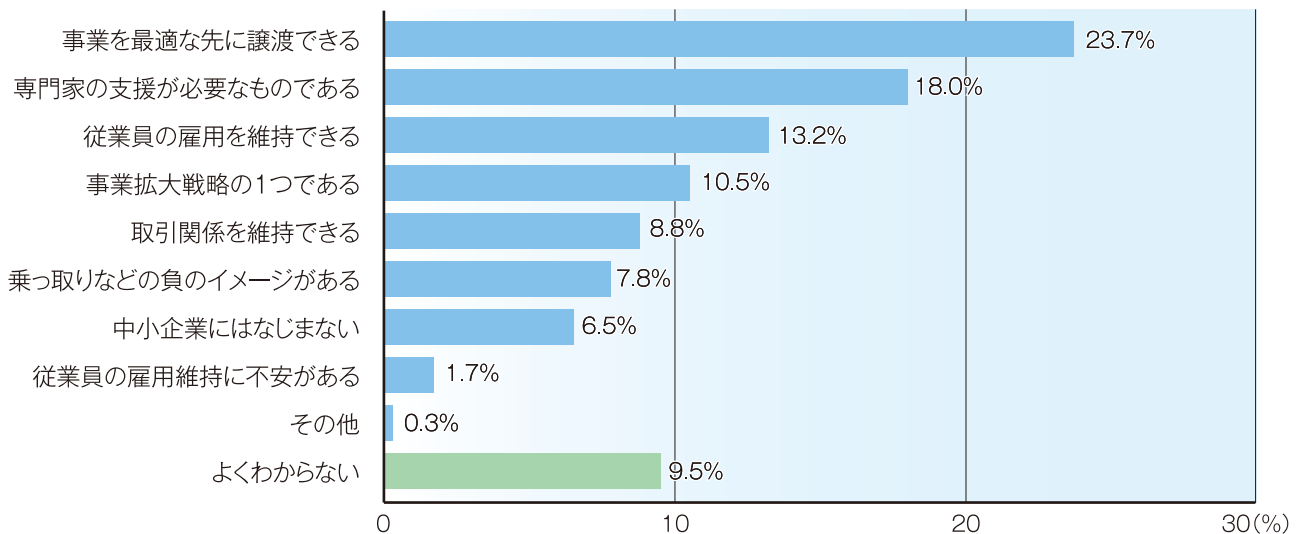
問3 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。



問4 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものをお答えください。



問5 近年、中小企業における M&A (第三者への事業譲渡) が話題になっていますが、M&A についてどのような認識を持っていますか。



中小企業の社長(代表者)の年齢階層については「60歳代」と回答した企業が最多となっており、全体の28.1%を占める割合となっている。また、「後継者はすでに決まっている」と回答した企業は全体のうち28.7%と、約7割の企業は後継者が決まっていない状況下にある。

事業承継の考え方については、53.8%の企業が「子供(娘婿などを含む)に承継」を考慮しており、回答の多くを占めた。

事業承継を行おうとする際に問題になると考えられることについては、「事業の将来性」が43.3%で最多であり、その他には「取引先との信頼関係の維持」や、「後継者の力量」といった事柄を心配する代表者が多いとの調査結果となった。

事業承継を進めていく上で、企業が信用金庫に対して期待していることについては、「後継者教育・セミナー等」の回答が最多となり、32.0%の結果となった。

M&A(第三者への事業譲渡)について企業が持つ認識については、「事業を最適な先に譲渡できる」が23.7%、「専門家の支援が必要なものである」が18.0%、「従業員の雇用を維持できる」が13.2%となっている。

すしんSDGsサポートローン

須賀川信用金庫はSDGs(持続可能な開発目標)に取り組む事業者の皆さまを応援します!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



対象となる お客さま	<ul style="list-style-type: none"> ◆当金庫の会員または会員資格を有する方 ◆当金庫営業区域内の法人または個人事業主の方 ◆当金庫の融資基準を満たしている方 ◆SDGsの取組みについて宣言または予定している方 	担保・保証	必要に応じて徴求します。
おせいみち	SDGsや地球環境に配慮した取組事業に対する 運転資金・設備資金	連帯保証人	「経営者保証に関するガイドライン」に準じた取扱いと します。
ご融資金額	1先 5千万円 以内	手数料	<ul style="list-style-type: none"> ◆融資取扱手数料 ・手形貸付の実行及び書替に伴う手数料 1,100円(消費税込) ・証書貸付の実行に伴う手数料 5,500円(消費税込) ※繰上返済、条件変更をされる場合は所定の手数料がかかります。 詳しくは窓口までお尋ねください。
ご融資形式	手形貸付または証書貸付		
ご融資期間	<ul style="list-style-type: none"> ◆手形貸付 … 1年 以内 ◆証書貸付 … 15年 以内 (ただし、設備資金については、法定耐用年数以内) ※必要に応じて1年以内の元金据置期間を設定できます。 ※運転資金のみの場合のご融資期間は5年以内とします。	その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆信用保証協会を利用する場合は、別途信用保証料が 必要となります。 ◆お申込みに際しては、当金庫所定の審査がございます。 審査結果によってはご希望に添えない場合もございます のでご了承ください。 ◆窓口にて返済額の試算ができますのでお申し出下さい。 なお、窓口にて【商品概要説明書】をご用意しております。
ご融資利率	変動金利 1.5% (信用保証協会をご利用の場合のご融資利率は「1.25%」 です。) ※ご融資期間が1年以内の場合は「固定金利」となります。		
ご返済方法	<ul style="list-style-type: none"> ◆手形貸付 … 期日一括返済または元金均等返済 ◆証書貸付 … 元金均等返済または元利均等返済 		

SDGsとは 「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月に国連で採択された17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までにあらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。

〈すしん〉景況レポート No.26

発行：須賀川信用金庫
〒962-0054 福島県須賀川市牛袋町121-1
発行年月：2023年10月
編集：総合企画部 TEL 0248-75-3176

<https://www.sushin.co.jp>



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森林からの木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。